

松戸市立図書館児童書評価基準

1. 絵本の評価基準

(1) テーマ

- ア 子どもが関心をもてるか。
- イ 発達過程にあっているか。
- ウ 愛・勇気・ユーモア・ナンセンスなどの話の本質がきちんと表現されているか。
- エ 子どもの表情を広げていけるか。

(2) 構成

- ア 起承転結がはっきりしているか。

(3) 絵

- ア 見るものに訴えかけてくる絵か。
- イ 絵がストーリーを語っているか(文字なし絵本は特に必要)。
- ウ 絵と文が調和しているか。
- エ 構図がしっかりしているか。色はどうか。
- オ 人物背景描写は確かか。

2. 物語の評価基準

(1) 内容

- ア テーマに一貫性があるか。
- イ 物語の構成がきちんとしているか。
- ウ 作者の意図が十分に書き込まれているか。
- エ 登場人物のキャラクターが明確に表現されているか。
- オ 歴史物語の場合、正確な史実に基づいているか。

(2) 形式

- ア 文体(表現形式)が対象とする年齢にふさわしいものか。
- イ さし絵は適切か。
- ウ 活字、用語、用字が内容に適しているか。
- エ 翻訳はこなれているか。
- オ 装丁、大きさ、型に気がくばられているか。

3. ノンフィクションの評価基準

- ア わかりやすく、明確な文章か。
- イ 新しく正確な情報に基づいて書かれているか。
- ウ 専門語について良く説明されているか。
- エ 写真や絵(図版)は新しく正確で、豊富に入っているか。
- オ 索引がきちんとしているか。
- カ 出典が明確か。
- キ 参考文献その他資料がのっているか。
- ク 執筆者、編集者の専門性と責任をもって仕事をしているか。
- ケ 知識が寄せあつめではなく系統だっているか。
- コ 表現方法が対象とする年齢にふさわしいものか。

サ 活字、用語、用字が内容に適しているか。

シ 装丁、大きさ、型に気がくばられているか。

4. 伝記の評価基準

ア 被伝者の行動や業績が、歴史的社会的背景とのかかわりあいの中で描かれているか。

イ 被伝者の生活全面が欠点をも含めて人間的にとらえられているか。

ウ 文学的表現が豊かで、感動深い作品となっているか。

エ 記述にあやまりはないか。

オ 被伝者の年表が添付されているか。

カ さし絵は、時代、地域を正しく描写しているか。

5. 参考図書(百科事典・図鑑等)の評価基準

ア 正確な知識に基づいているか。

イ 明確な説明がなされているか。

ウ 新しい情報に基づいているか。

エ 写真、図版は豊富で、資料は新しいか。

オ 索引がきちんとしているか。

カ 出典が明確か。

キ 執筆者、編集者が責任をもって仕事をしているか。

ク 参考文献、その他資料がのっているか。

ケ 活字、用語、用字が内容に適し、年令に適しているか。

コ 造本が丁寧か。

サ 装丁、大きさ、型に気がくばられているか。